

designed by freepik
arranged by Y. WATANABE

学習院大学史学会 2018年度例会

中世文書から 日本をよむ

2018年10月20日(土)

14:00~17:00

於:国立歴史民俗博物館

※お手数ですが、10月14日 17時までに

「お名前・ご連絡先」を明記の上、

下記のメールアドレスまでお送りください。

入場無料
※事前要予約

■お問い合わせ■

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

学習院大学文学部史学科内 学習院大学史学会

【Mail】reikai.gakushuin.1847@gmail.com(担当:渡邊佑里乃)



本年度の学習院大学史学会例会では、田中大喜氏によるご講演「日本の中世文書」および同氏による国立歴史民俗博物館企画展「日本の中世文書—機能と形と国際比較—」ギャラリートークを企画いたしました。

本展示は古代律令国家から現代までを視野に入れた、総展示数260点に及ぶ規模であり、かつ東アジア圏の文書との比較から国際的な視点でも文書をみることができると大変貴重な機会となっております。

日本中世史をご専攻の方はもちろん、またそうでない方も、皆様奮ってご参加ください。

第1部 14:00~14:45

講演: 田中 大喜 氏

(国立歴史民俗博物館 准教授)

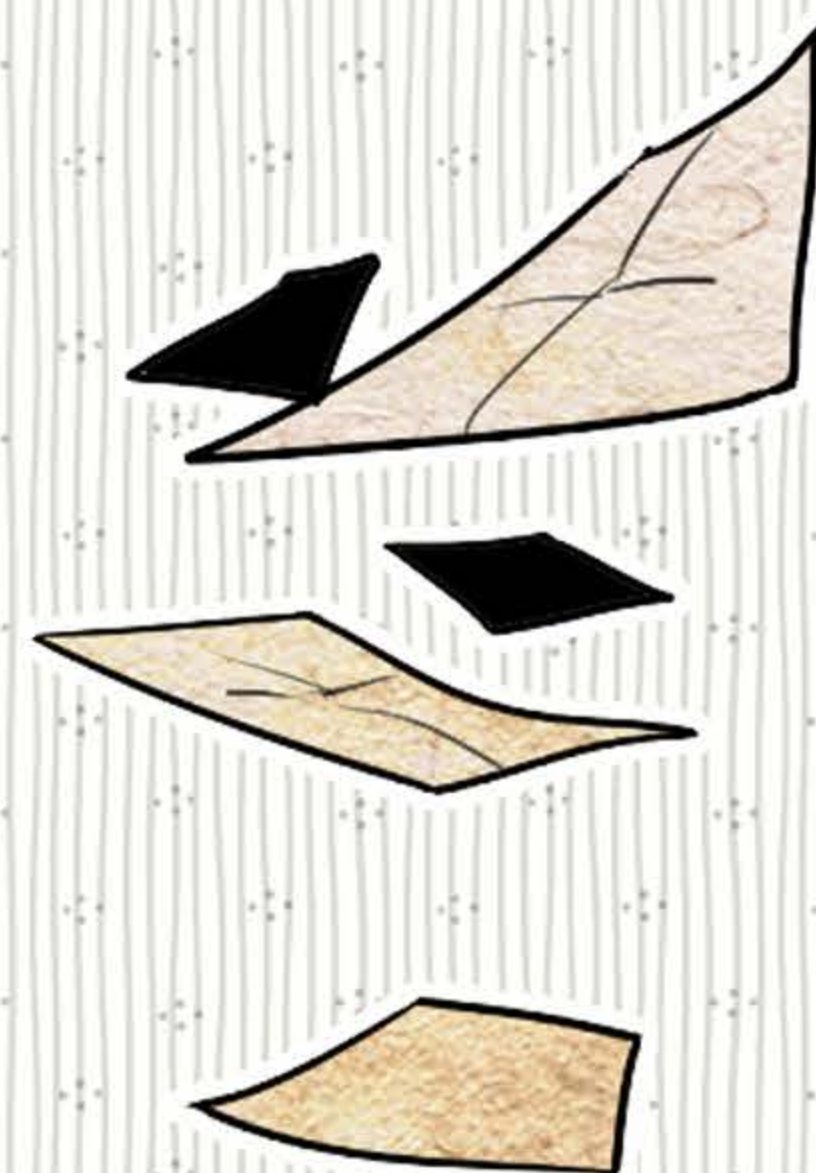
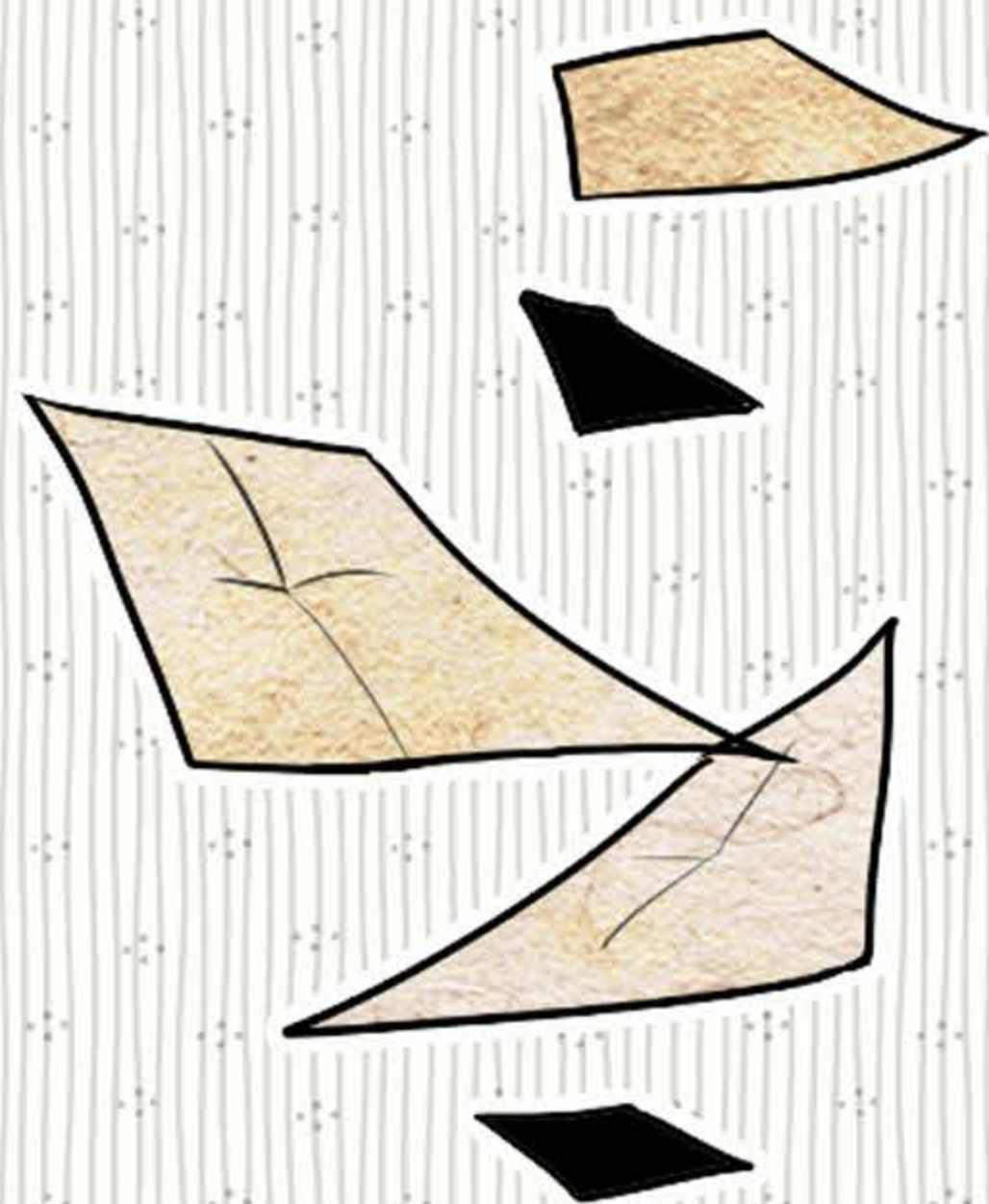
「日本の中世文書」

会場: 国立歴史民俗博物館 大会議室

第2部 15:00~17:00

ギャラリートーク: 同 氏 (展示副代表)

企画展 「日本の中世文書—機能と形と国際比較—」



田中 大喜 氏 (国立歴史民俗博物館 准教授)

【講師略歴】

2005年3月、学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了。博士(史学)。駒場東邦中学・高等学校教諭を経て、2014年4月より国立歴史民俗博物館准教授、同年10月より総合研究大学院大学文化科学研究科准教授併任。専門は日本中世史。単著に『中世武士団構造の研究』(校倉書房、2011年)、『新田一族の中世「武家の棟梁」への通』(吉川弘文館、2015年)、共編著に『日本中世史入門 論文を書こう』(勉誠出版、2014年)など。

●集合場所: ちばグリーンバス田町車庫行き 「国立博物館入口」駅

●アクセス: [JR東日本利用の場合] 東京駅から総武本線佐倉駅(約60分)下車、バス約15分

(北口1番乗場から、ちばグリーンバス田町車庫行き乗車、「国立博物館入口」下車)

[京成電鉄利用の場合] 京成上野駅から京成佐倉駅(約55分)下車、バス約5分

(南口1番乗場から、ちばグリーンバス田町車庫行き乗車、「国立博物館入口」下車)

(詳細は国立歴史民俗博物館ホームページをご覧ください)

●集合時間: 13:30

